

# SGH事業に係る カリキュラム開発と成果

H 3 0 . 6 . 2 9

高知県立高知西高等学校

SGH研究主任 北村 千枝

S G H 構想図  
(文部科学省提出)



国際シンポジウム  
(7月)

- 探究成果発表
- パネルディスカッション  
(提携校：Tarremah Stainer School)

生徒全員が、個人で  
リサーチペーパー  
(論文) を作成

海外リサーチ  
(9月/11月)

1年：香港、台湾  
2年：シンガポール、タイ  
3年：シンガポール国立  
大学でポスター  
セッション

生徒全員がグループ  
でリサーチペーパー  
(論文) を作成  
(世界に焦点を当てた  
取組)

地域の課題と対策について  
県内外の企業、大学、  
NPO法人等から学ぶ

4つのサブテーマ  
(地域(高知)に焦点  
を当てた取組)

# CONTENTS

1. グローバル人材に必要な力
2. 取組の両輪
3. グローバル探究
4. 英語学習
5. 評価
6. 成果 ・ 生徒の変容
7. 課題

# 1 グローバル人材に必要な力

- コミュニケーション力
- チームを前進させるリーダーシップ
- 問題発見、問題解決力
- 創造的、批判的、論理的思考力
- 表現力
- 英語運用能力

## **2 取組の両輪**

**(1) グローバル探究 (総合的な学習)**

**(2) 英語学習**

### **3 グローバル探究（探究学習）**

#### **（1）教育課程上の時間割**

**1年生：グローバル探究Ⅰ（2単位）**

**2年生：グローバル探究Ⅱ（2単位）**

**3年生：**

**理型：グローバル探究Ⅲ（1単位）**

**文型、英語科：**

**グローバル探究Ⅲ（1単位）**

**課題論文（1単位）**

## 【探究テーマ】

「①食を活かした②地域創生」をテーマに  
③グローバル人材を育成する

## 【対象】

全生徒

(H30生徒数普通科719名、英語科120名)

## (2) 授業カリキュラム

- ① **食**
- **素材を活かす。**（「六次産業」）  
（地域素材、環境を活用するために）
  - **食を広げる。**（「生産流通」）  
（流通促進、販売促進のために）
  - **食を活かす。**（「食と観光」）  
（観光による経済効果促進のために）
  - **食で考える。**（「食と健康」）  
（貧困問題、健康問題解決のために）



②

## 地域

### ① 高知県（1年生）

現状と課題を理解し解決案まで示す。  
（郷土愛を育むために）

### ② 世界（2年生）

S D G s を参考に世界の地域課題解決。  
（グローバル思考の醸成）

### ③ グローカルな取組（3年生）

高知と世界の繋がりでとらえる。  
（世界＝グローバル、高知＝ローカル）

### ③グローバル人材

「高知県の問題」から「世界の抱える問題」へ

少子高齢化、地域活性化、経済、健康寿命、強みの一次産業を生かす取組、市場との距離



高知の課題解決を考えることは、世界のどこかの地域課題解決に繋がる  
Think globally, Act locally (= グローカル)

(例) 酒の消費量と健康寿命が似ているリトアニアに、高知県の解決策を提案する。

# 〔指導方法〕

- 全学年の正副担任を中心として、全ての教員が指導に関わる。
  - 定期的な担当者会を開催し、指導計画に関する打ち合わせ、意見交換を行う。
- 県内外の大学教員の講演や助言を受けることのできる機会を設定。  
(高大連携：専門的知識・技術・方法論の獲得)
- 県内外の企業、NPO法人の講演や助言を受けることのできる機会を設定。  
(専門的知識・技術の獲得)
- 各学年、探究成果を発表する機会を設定する。



研究テーマ	「食を活かした地域創生」をテーマにしたグローバル人材の育成	授業実施日	水曜日6・7限目
-------	-------------------------------	-------	----------

- 育成する力
- ①郷土を愛し、地域の発展に貢献しようとする態度(日本人としてのアイデンティティ)
  - ②地域の取組や食を題材にした先人の成功事例をもとにした要因分析力
  - ③高知県の社会課題における課題発見力、課題解決力
  - ④新たな付加価値をもたせた「高知県の地域創生モデル案」を考案していく過程で培われる創造的・批判的・論理的思考力
  - ⑤グループ探究活動を基にしたコミュニケーション能力や表現力及びリーダーシップ

高知の現状理解 → 成功事例の収集 → 成功要因分析 → 成功要因の組み合わせ・アレンジ → オリジナルな高知の地域創生モデル案づくり → 発表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
---	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

高知の社会課題理解/成功事例収集/成功要因分析/1学期で簡単な探究サイクルを経験(課題設定→設定理由→参考文献ピックアップ→解決案の提示)

高知県の現状と課題の理解、ディスカッションスキルの向上 (タブレット無し)

グループ発表

- ・分かったこと
- ・関心のある地域課題

リサーチ活動(フィールドワーク) 大規模リサーチ・海外リサーチ、県内リサーチ(7地域): 四万十町/高知市/須崎/高知市/嶺北/安芸高松/馬路

フィールドワーク  
机上の論理だけではなく、実際に現地に行き、経営者や取組実践者に話を聞く。

グループ発表

- ・立ち向かっている課題
- ・分かったこと

探究活動(地域創生モデル案作成)～解決したい高知の社会課題を設定して、電話や地域の活動から得られた成功要因を基にしつつ、先行研究、文献を参考にオリジナルの解決案を提案する～

高知県の地域創生モデル案作成

テーマ設定  
根拠をあげて問題点の指摘  
解決案

グループ発表(東京)

- ・地域創生モデル案の発表
- ・ポスターセッション

グループワーク

- ・コミュニケーション力
- ・論理的・批判的・創造的思考力
- ・郷土愛・郷土理解

SWOT分析  
をもちこたせる  
テーマ設定に



# 1年生 活動風景



県内企業訪問（（株）四万十ドラマ）



教室での活動



職業人講話で高知県の企業活動を知る



海外リサーチ（台湾）  
台湾の生徒と交流



海外リサーチ（香港）  
企業訪問（西原商会）



探究成果発表

「食を活かした地域創生」をテーマにしたグローバル人材の育成	授業実施日	金曜日6・7限目
-------------------------------	-------	----------

- ①高知の社会課題解決 → 世界で高知と似た問題を抱える地域の選定 → その地域の課題解決に発展
- ②世界のある地域の社会課題解決 → 高知の社会課題解決に発展
- ③世界のある地域の社会課題解決 → 世界の社会課題解決に発展

普通科は理型(2クラス)、文型(4クラス)、その中で国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を参考に探究したいテーマを選び、テーマ別にクラスをこえてグループを結成する。英語科(1クラス)はクラス内でグループ化。

- ①1年次で醸成された郷土愛を基盤にした「世界の中での日本人としての文化的アイデンティティ」
- ②グループ探究活動を基にしたコミュニケーション力や表現力及びリーダーシップ
- ③幅広い知識と教養を基盤にした課題発見力、課題解決力
- ④SDGsを基にした地域課題解決をグループで取り組み、リサーチペーパー(論文)にまとめていく過程で培われる創造的・批判的・論理的思考力
- ⑤メディアリテラシー、情報活用能力

グループ結成→探究テーマ設定→解決案の提示→夏休みアクションプラン実行(アンケート・関係機関への聞き取り等)→論文フローチャート作成→中間発表→研究論文作成→発表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----



論文とは  
SDGsとは  
テーマ設定  
夏休みアクション検討

6月下旬  
大学教授にプレゼン

夏休みアクションプランの実行

9月中旬  
大学教授との相談会

リサーチペーパー(論文)を作成

- 世界の地域課題解決
- 高知と世界の繋がりでの地域課題解決

10月下旬  
大学教授に中間発表

県内外で発表



# 2年生 活動風景



教室での活動



大学教員への中間報告



大学教員による助言



海外リサーチ (シンガポール)  
(日立アクアテック)



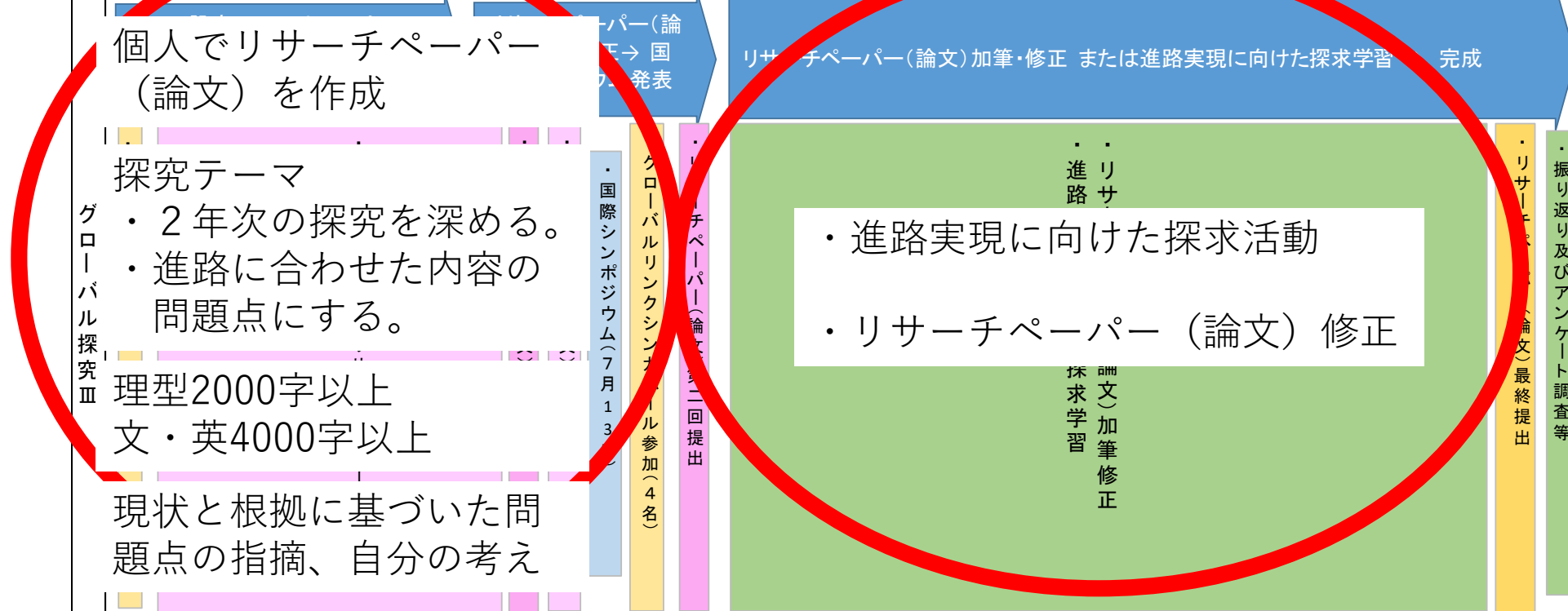
四国高校生SGH会議  
(in松山)



SGH成果発表会

研究テーマ	「食を活かした地域創生」をテーマにしたグローバル人材の育成	授業実施日	普通科理型:水曜日5限目 普通科文型/英語科:水曜日6限目
テーマ設定	個人の関心のある事象		
実施方法	理型(2クラス)は2000字以上、文型(4クラス)は4000字以上の個人によるリサーチペーパー(論文)を作成する。個人の関心のある事象をあげ、そこから深堀していく中で問題の本質をテーマに取り上げ、課題設定し、しっかりした論拠とともに論を展開し、最後に自分の考えを示す。		
育成する力	①1・2年次で醸成された郷土愛を基盤にした「世界の中での日本人としての文化的アイデンティティ」 ②幅広い知識と教養を基盤にした課題発見力、課題解決力 ③個人が関心のあるテーマを設定し、リサーチペーパー(論文)にまとめていく過程で培われる創造的・批判的・論理的思考力と表現力、および適切な根拠を選択する判断力 ④メディアリテラシー、情報活用能力		
サイクル	探究テーマ設定→リサーチペーパー作成→提出→加筆・修正→(国際シンポジウム発表)→完成		

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
---	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----





# 3年生 活動風景



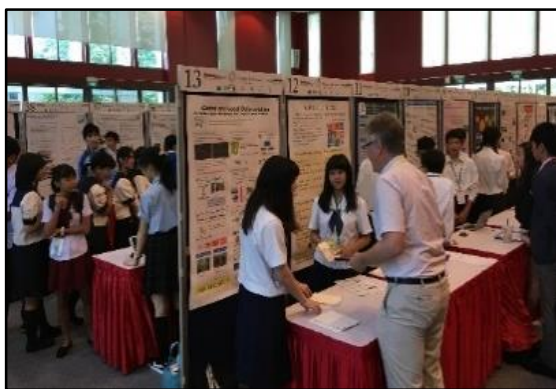
教室での活動



指導担当者への中間報告



講演  
プレゼンテーションスキル



海外で探究成果発表  
(グローバル・リンク・シンガポール)



高知西高校SGH国際シンポジウム



# 4 英語学習

## (1) 教育課程上の時間割

1年生：英語表現Ⅰ（3単位）

2年生：

普通科：英語表現Ⅱ（2単位）

英語科：グローバルエデュケーションⅠ（2単位）

3年生：

普通科：英語課題探究（2単位 選択科目）

英語科：グローバルエデュケーションⅡ（2単位）

## (2) 英語表現 I

- 外国人講師によるソロ授業  
(ディベート入門・カントリープロジェクト等)
- 多読 (タブレットを使って内容理解問題に挑戦)
- 文法演習 (パフォーマンステスト含む)
- 週末課題 (英作文課題)

# 多書

# 英語表現の授業 週1回の課題

意見述べる]  
5月7日(木)総合英語Iの担当者に提出  
ことについて、2つの理由を挙げて英文を書い

意見述べる] 5月7日(木)総合英語Iの担当者に提出  
自分の生活において大切であることについて、2つの理由を挙げて英文を書い

① I think that English is important in our lives.  
② There are two reasons for this.  
③ First, English is used by people all over the world.  
So persons who learned English can communicate with people all over the world.  
Second, we can tell foreigners the way to their destination when we're asked by them. I think you can think of other examples. Okazaki.  
④ So I think English is important in our lives. *great ideas!*

**\*\* Rule \*\***  
① まず結論(意見・考え)を述べる ⇒ I think that English is important in our lives.  
② 理由がいくつあるのかをはっきりと示す ⇒ There are two reasons for this.  
③ First, ... (第一に、まず) / Second, ... (第二に)を使って順番に理由を述べる  
⇒ First, we can talk with people from other countries in English.  
⇒ Second, we can use English to get information from the internet.  
④ 最後にもう一度、自分の意見をまとめる。(結論を述べる)  
⇒ So I think knowing English is a must these days.

1年7H36番 氏名 岡田 麗

① I think that English is important in our lives.  
② There are two reasons for this.  
③ First, if you can speak English, you also can communicating with foreign people.  
Second, it is used in various sign. So if you cannot read English, you will have a problem.  
④ Because of these reasons, I think English is important in our lives. *Misuzu*

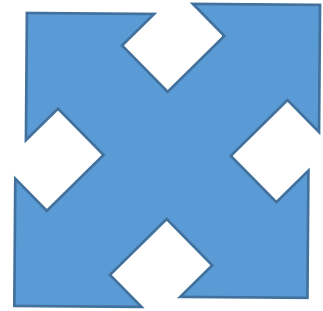
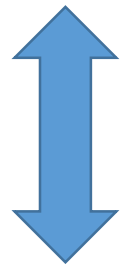
**Rule \*\***  
① まず結論(意見・考え)を述べる ⇒ I think that English is important in our lives.  
② 理由がいくつあるのかをはっきりと示す ⇒ There are two reasons for this.  
③ First, ... (第一に、まず) / Second, ... (第二に)を使って順番に理由を述べる

# ERROR 万歳♪

多読



多書



多聴



多話

### (3) グローバルエデュケーション I

#### ・1学期から2学期前半

グローバルな課題に関するテーマ学習

- サブテーマ：「信仰と食」  
「食とフェアトレード」  
「言語・習慣と食文化」

#### ・2学期後半

語学研修の訪問国イギリスに関する  
リサーチ活動、冊子づくり、  
プレゼンテーション

## **(4) 英語課題探究 グローバルエデュケーションⅡ**

- **1 学期**

**昨年度の研究ペーパーの内容の再検討  
国際シンポジウムでの発表（グループ）**

- **2 学期**

**研究ペーパーの作成及び発表（個人）**

## (5) 英語表現Ⅱ

- 1 学期  
設定された食に関するテーマに基づき、グループで発表
- 2 学期前半  
設定された食に関するテーマに基づき、個人で発表
- 2 学期後半 ディベート



# 5. 評価

## S G Hの外部評価（県教委主催）

- ・ S G H運営指導委員会（7月、2月）
- ・ グローバル教育推進委員会（7月、10月、1月）



指摘された箇所は修正を図る。

## 外部からの評価（国際シンポジウム参加者や外部講師から）

- ・ 地元の地域課題について理解している。
- ・ S W O T 分析により根拠がしっかりしている。
- ・ S D G s を基にして世界課題を探究している。
- ・ アンケートでオリジナルデータがある。
- ・ 年々良くなっているが、本当の問題が何かにまだ、迫られていないグループがある。

## 6. 成果、生徒の変容

- ・ 明確な論拠を挙げてプレゼンすることができるようになった。
- ・ 自身で探究の問い立て、リサーチし、論文を作成したことで、批判的・創造的・論理的思考力が向上した。
- ・ リサーチペーパー（個人論文）の作成方法を理解することで、思考のプロセスや探究活動の手順を学ぶことができた。
- ・ KJ法などのディスカッションで出た意見のまとめ方など、基本的な技術を学び、グループワークの基本が身についた。
- ・ 出身中学校に戻って、本校でのSGH活動の成果報告ができ、普及活動に貢献した。

# 校内での意識調査アンケートから見る生徒の変容

(5月・2月実施)

表5：グローバル・リーダーとしての資質・力量の変容について

資質・能力	学年	①H28.5	②H29.2	③H29.5	④H30.2	備考
1. 世界の中での日本人としての文化的アイデンティティ	61期生	—	—	5.09	4.91	◆59期生：④>①有意に上昇
	60期生	4.95	4.87	5.03	5.02	
	59期生	4.80	4.98	5.04	5.12	
2. 幅広い知識と教養	61期生	—	—	4.75	4.61	◆60期生：④>②有意に上昇 ◆59期生：④>①有意に上昇
	60期生	4.72	4.50	4.62	4.86	
	59期生	4.48	4.61	4.69	4.82	
3. コミュニケーション能力	61期生	—	—	4.99	4.61	◆61期生：有意に下降 ◆59期生：④>①有意に上昇
	60期生	4.87	4.71	4.78	4.70	
	59期生	4.53	4.73	4.76	4.85	
4. リーダーシップ	61期生	—	—	4.97	4.69	◆61期生：有意に下降 ◆60期生：④>②有意に上昇 ◆59期生：④>①有意に上昇
	60期生	4.88	4.63	4.72	4.88	
	59期生	4.56	4.76	4.76	4.87	
5. 課題発見・解決力	61期生	—	—	4.59	4.54	◆60期生：④>②有意に上昇 ◆59期生：④>①有意に上昇
	60期生	4.56	4.36	4.52	4.63	
	59期生	4.31	4.56	4.55	4.76	
6. 社会課題に対する関心	61期生	—	—	5.05	4.78	◆60期生：③>②有意に上昇
	60期生	4.95	4.70	5.03	4.80	
	59期生	4.94	4.96	5.03	5.17	

満点は7.0点 有意水準は1%

(H30高知西高等学校研究開発実施報告書より抜粋)

# 7. 課題

- ・ **全学年全生徒を対象として実施しているため、リサーチペーパー（探究論文）の内容の充実度に差がある。**
- ・ 1年から2年、2年から3年に繋げていくシステムがうまくいっていない面があり、今年度改善策を試行している。
- ・ リサーチペーパー（探究論文）作成時間が、授業時間では不十分。
- ・ 海外リサーチにおいて、英語を活用して積極的にインタビューやディスカッションができる力を育成する必要がある。